

2020.10.1 保健師等ブロック別研修会

令和元年房総半島台風における
鴨川市の実践活動から
～見えてきた課題と現在の取り組み～

鴨川市健康福祉部 健康推進課

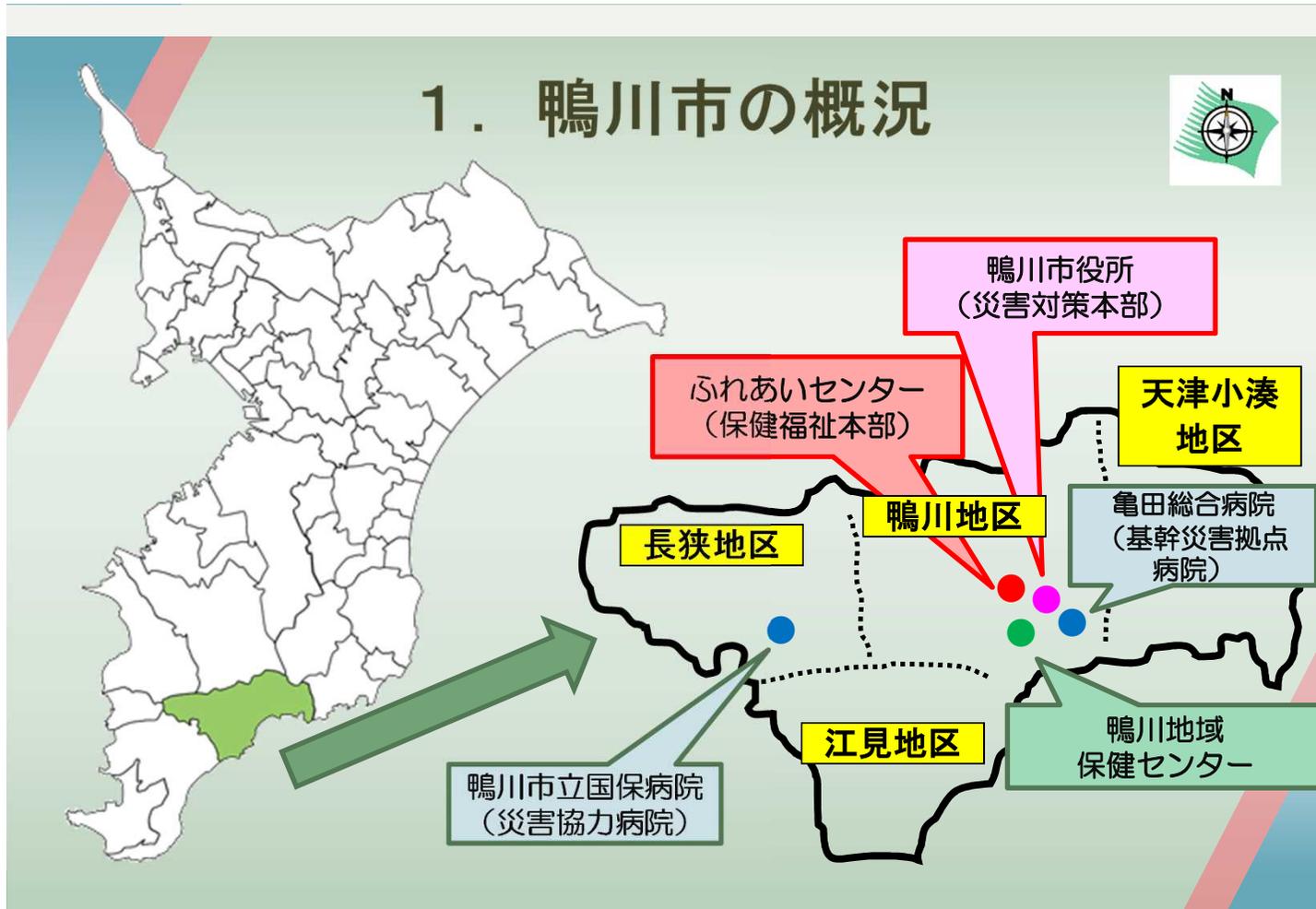
保健師長 山口 恵子



報告内容

1. 鴨川市の概況
2. 令和元年度 台風における鴨川市の被災状況
3. 鴨川市の災害対策と対応の結果
4. 県・保健所との連携
5. 「はじめての」受援
6. 鴨川市の災害医療連携
7. ケアマネジャーへのアンケート結果
8. 見えてきた課題
9. 現在の取り組み

1. 鴨川市の概況



*データは、令和2年4月1日現在

鴨川市の人口

| 地区 | 人口 (人) | 世帯数 (世帯) | 高齢化率 (%) |
|-------|--------|----------|----------|
| 鴨川市全体 | 32,457 | 16,165 | 38.3 |
| 長狭 | 4,293 | 2,061 | 46.1 |
| 江見 | 4,631 | 2,347 | 46.0 |
| 鴨川 | 18,017 | 9,081 | 32.7 |
| 天津小湊 | 5,516 | 2,676 | 44.2 |



天津小湊地区 抜粋

データは令和2年4月1日現在

| 地区 | 人口 | 65歳以上人口 (人) | 高齢化 (%) |
|-----|----|-------------|---------|
| 四方木 | 77 | 45 | 58.4 |
| 清澄 | 48 | 28 | 58.3 |

2. 令和元年房総半島台風における 鴨川市の被災状況（R1.11.11現在）

令和元年9月9日未明に発災（激甚災害に指定）

- 人的被害：なし
- 住家被害（罹災証明より把握）
全壊2戸 大規模半壊2戸 半壊42戸
一部損壊 1,466戸
- 停電：18,100軒（2週間以上の長期停電地域も・・・）
- 断水：5,755戸
- 通行止め：95か所
- その他：通信障害地域多数あり
- 避難所開設数：12か所（避難者数 48人）

台風15号

（9/8の16時～9/12正午まで）

令和元年東日本台風における 鴨川市の被災状況（R1.11.13現在）

令和元年10月12日に発災

台風19号

- 人的被害：なし
- 住家被害（罹災証明より把握）：
大規模半壊1戸 半壊2戸 一部損壊 86戸
- 停電：10,000軒（10月17日に復電）
- 断水：235戸（10月15日に復旧）
- 避難所開設数：20か所（避難者数 981人）

多くの住民が避難し、対応に追われた
感染症予防対策の徹底に努めた

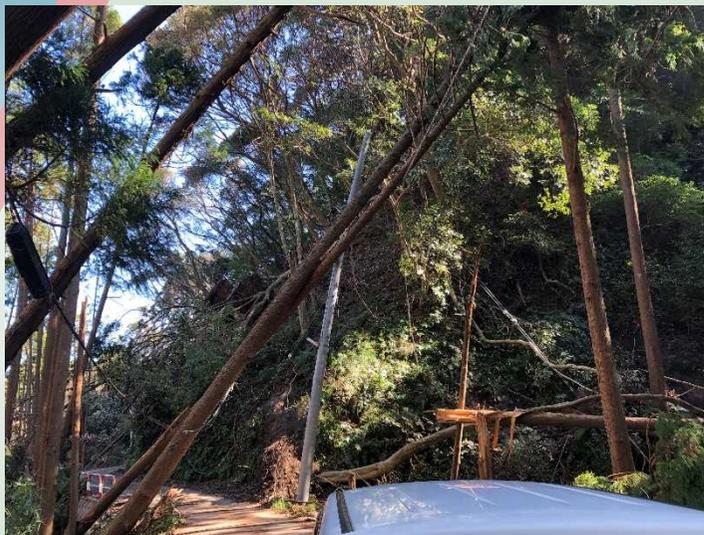
令和元年台風21号大雨における 鴨川市の被災状況（R1.11.13現在）

台風21号

令和元年10月25日に発災

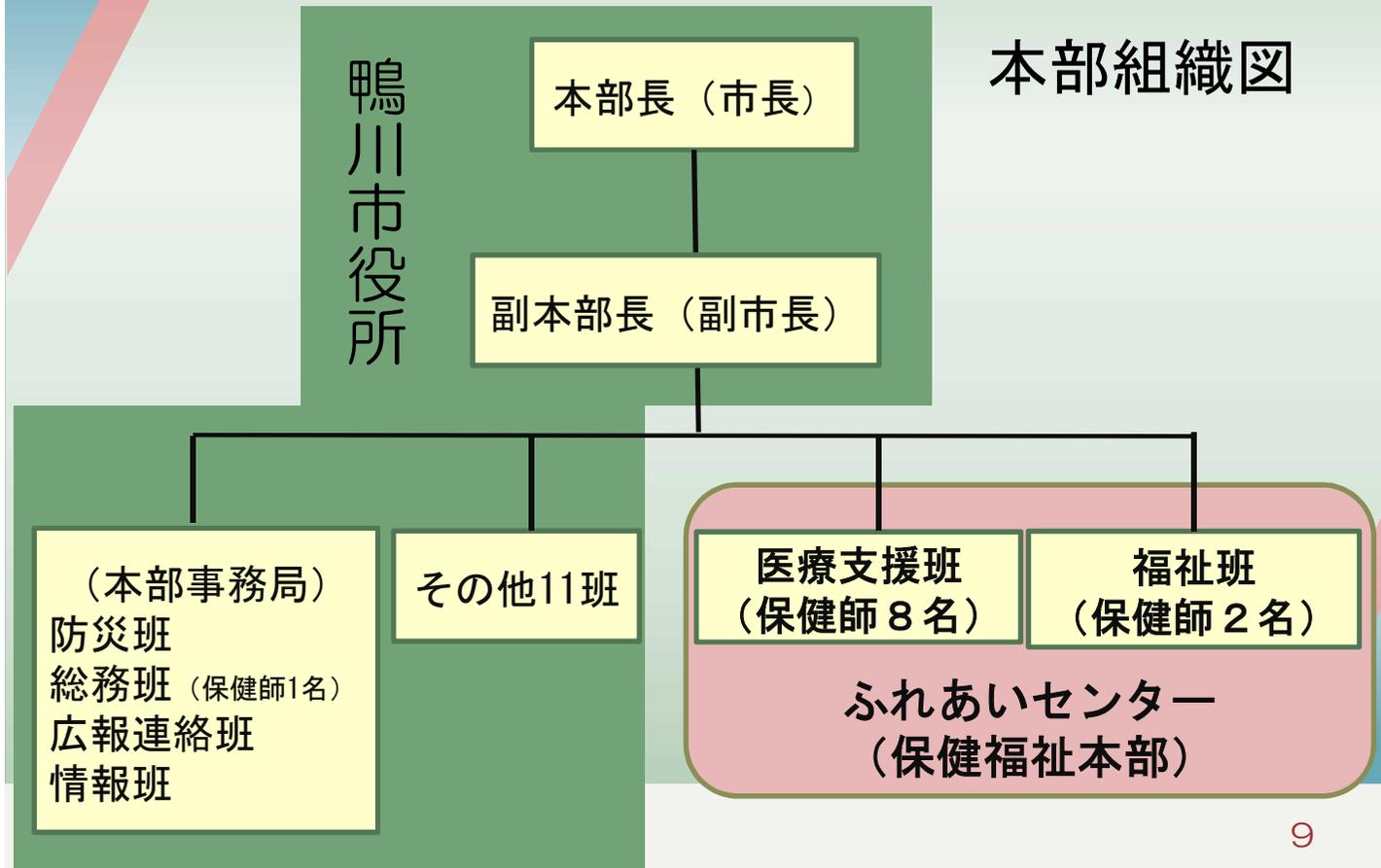
- 人的被害：なし
- 住家被害：床上浸水 5戸 床下浸水 28戸
- 停電：30軒
- 断水：4,699戸
- 避難所開設数：13か所（避難者数 57人）

鴨川市内の被害状況（台風15号）



3. 鴨川市の災害対策

本部組織図



医療支援班・福祉班の役割

| 医療支援班 | 福祉班 |
|--|--|
| <p>(1) 傷病者の応急救護に関すること</p> <ul style="list-style-type: none">① 救護センターの設置② 医薬品・医療用資器材等の確保③ 応急医療の調整④ 傷病者の収容・搬送⑤ 医療要援護者の支援 <p>(2) 市民の健康管理に関すること</p> <ul style="list-style-type: none">① 市民の健康管理及び防疫② 被災地の消毒 | <p>(1) 住民の福祉に関すること</p> <ul style="list-style-type: none">① 要配慮者への支援② 福祉避難所の開設・運営③ 日赤、社協との連絡調整④ ボランティア活動の調整⑤ 要配慮者利用施設の避難計画 (浸水想定区域内等)⑥ 各種給付対策⑦ 義援金に関すること <p>(2) 認定こども園に関すること</p> <ul style="list-style-type: none">① 応急教育・応急保育の実施 |

鴨川市健康推進課 台風15号対応経過

| | 9/9 (月) | 9/10 (火) | 9/11 (水) | 9/12 (木) | 9/13 (金) | 9/14 (土) | 9/15 (日) | 9/16 (月) | 9/17 (火) | 9/18 (水) | 9/19 (木) | 9/19 (金) | 9/20 (土) | 9/21 (日) |
|-----------------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| ◇医療機関及び介護機関への支援 | | | | | | | | | | | | | | |
| ○医療機関確認 | | | | | | | | | | | | | | |
| ○介護機関確認 | | | | | | | | | | | | | | |
| ◇避難所 | | | | | | | | | | | | | | |
| ○避難所開設 | | | | | | | | | | | | | | |
| ○熱中症対策休憩スペース開放 | | | | | | | | | | | | | | |
| ◇避難行動要援護者安否確認 | | | | | | | | | | | | | | |
| ○独居高齢者 | | | | | | | | | | | | | | |
| ○要介護認定サービス未利用者 | | | | | | | | | | | | | | |
| ○妊産婦、乳児等安否確認 | | | | | | | | | | | | | | |
| ○医療機器充電場所の確保 | | | | | | | | | | | | | | |
| ◇その他 | | | | | | | | | | | | | | |
| ○支援物資配布 | | | | | | | | | | | | | | |
| ○広報 | | | | | | | | | | | | | | |
| ○防疫対応 | | | | | | | | | | | | | | |

【台風15号対応における課題】

- * 指揮命令系統の明確化（他課との連携及び役割分担）
- * 要援護者名簿の作成及び管理（安否確認の効率化）→福祉避難所、母子避難所への振分け及び他機関からの情報による安否確認の効率化
- * 情報収集方法→市からの確認とともに、関係機関から情報提供による情報収集及び関係者への提示

鴨川市健康推進課 台風19号対応経過

| | 10/10 (木) | 10/11 (金) | 10/12 (土) | 10/13 (日) | 10/14 (月) | 10/15 (火) | 10/16 (水) | 10/17 (木) | 10/18 (金) |
|-----------------|--------------|--------------------|---------------|--------------|--------------|--------------|-----------------------------------|--------------|--------------|
| ◇医療機関及び介護機関への支援 | | | EMIS及び電話等にて確認 | | | | | | |
| ○医療機関確認 | | | | | | | 医療機関及び介護機関すべて通電確認 | | |
| ○介護機関確認 | 介護事業所への説明会 | 県発電機貸出 | | 介護事業所からの情報収集 | | | 介護事業所営業状況停電及び断水地区の情報提供 (HP/メール配信) | | |
| ◇避難所 | | | | | | | | | |
| ○避難所開設 | | 避難所開設 (最大1,000人避難) | | | | | | | |
| | | 避難所巡回 | | | | | | | |
| | | | 母子避難所開設 | | | | | | |
| ◇避難行動要援護者安否確認 | | | | | | | | | |
| ○要介護認定サービス未利用者 | | 対象者名簿の抽出 | | | 安否確認電話及び訪問 | | | | |
| ○妊産婦, 乳児等安否確認 | | | | | 保健所派遣 | | | | |
| | | | | 母子避難所開設 | | | | | |
| ◇その他 | | | | | | | | | |
| ○支援物資配布 | | | | | | | | | |
| ○広報 | | | | | | | | | |

【台風19号対応における課題】

- * 指揮命令系統の明確化 (他課との連携及び役割分担)
- * 要援護者名簿の作成及び管理 (安否確認の効率化) → 要介護者サービス未利用者及び妊産婦乳児の名簿作成を事前に準備 休日のため居宅支援事業所からの情報提供が数日先となった。
- * 母子避難所 → 一家で避難してきた場合の対応 関係機関との調整

4. 県・保健所との連携

| | | 連 携 内 容 | フェーズ |
|---|----------------|---|-----------------|
| 1 | 情報共有 | 被災状況（医療機関、介護・障害施設・サービス事業所等）ライフライン、道路状況等 | 0 (発災直後から) |
| | | 避難所情報と保健活動ニーズ | |
| | | 災害拠点病院との情報共有 | |
| | | 安房地域保健医療調整会議（Web活用） | 1 (72時間以内) |
| 2 | 受援体制の連絡調整 | 保健活動のニーズ把握 | 2 (発災1週間) |
| | | 保健師応援要請 | |
| | | 保健師応援チームの受け入れ調整及びサポート | 受援期間中 |
| 3 | 災害対応や受援体制の振り返り | 市・保健所合同振り返りの会 | 受援終了直後 |
| | | 安房保健所管内保健師業務連絡研究会 災害時保健活動報告会等 | 4 (復旧・復興対策期) |

5. 「はじめての」受援

台風15号・県外保健師チームの受援状況

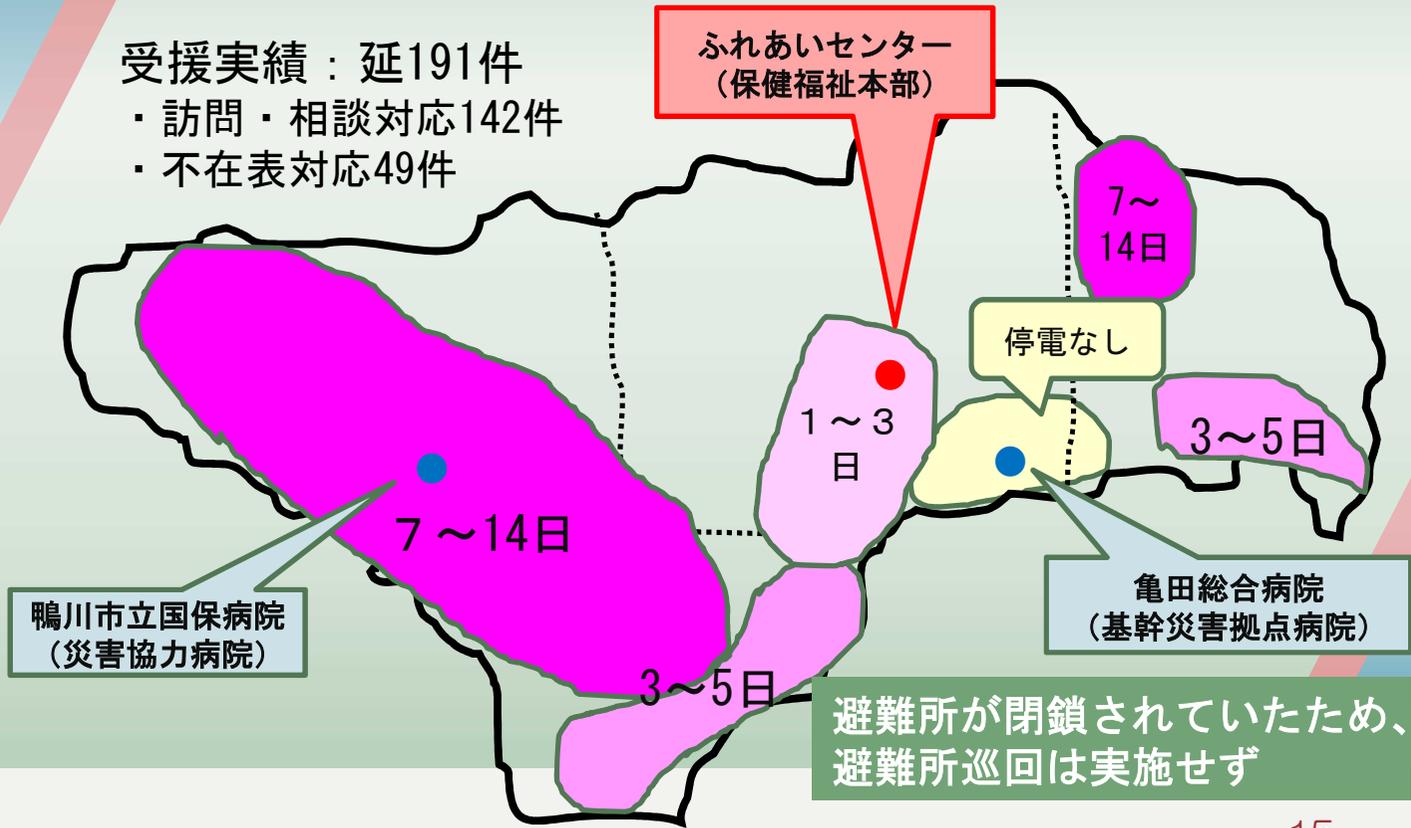
| 期間 | 支援チーム数 | チーム員 |
|--------------------|--------|--------------------|
| 9月17日～21日 (5日間) | 1 | 保健師 2 調整担当事務職 1 |
| 9月18日～22日 (5日間) | 2 | 保健師 2 調整担当事務 2 |

受援業務：停電地域を中心とした、
要援護者の安否確認訪問及び健康相談

対象者：要支援・要介護認定者のうち、介護保険サービス
未利用者、独居高齢者、障害者等

台風15号・鴨川市内の停電状況

受援実績：延191件
・訪問・相談対応142件
・不在表対応49件



活動計画

| チーム編成 | 対象地区及び対象者 |
|-------------|---|
| 神奈川県 チーム | 大山地区 *9/18現在停電地区の独居高齢者の訪問調査 対象者数 平塚（ひらつか）地区12件 金東（こづか）地区 8件 計20件 ●全て停電エリアとなります。通電エリアがありましたら報告をお願いします。 |
| 川崎市 チーム | 吉尾地区 *9/18現在停電地区の独居高齢者の訪問調査 対象者数 北風原（ならいはら）地区7件 寺門（てらかど）地区 4件 横尾（よこお）地区 1件 松尾寺（まつおじ）地区 7件 大川面（おおかわずら）地区3件 宮山（みややま）地区 6件 計28件 ●停電エリアが点在しているため、停電地区の把握をできる範囲にてお願いします。 |
| 群馬県 チーム | 四方木（よもぎ）・清澄（きよすみ）地区 *9/18現在停電地区の独居高齢者の訪問調査 ●近隣に医療機関がないため、独居高齢者以外でも相談支援をお願いします。 |

【ポイント】
・停電エリアの把握

【ポイント】
・住民の健康相談

受援・保健活動の課題

| フェーズ | 保健活動内容 | 課題 |
|------------------|---|--|
| 平常時 | <ul style="list-style-type: none"> ・保健師定例会で地区診断の共有 ・保健師防災研修 ・基幹災害拠点病院（以下、拠点病院）・消防署等と定例会議 ・災害机上訓練の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・保健師だけでなく、関係機関と地区診断等を共有する ・顔の見える関係づくり |
| 受援前 9/9～9/16 | <ul style="list-style-type: none"> ・市職員による停電地域要援護者等の安否確認 ・応援チームの受け入れ準備 依頼内容の所属内調整 活動計画作成 | <ul style="list-style-type: none"> ・保健所と被災状況、応援保健師要請について共有 ・災害時における地域アセスメント ・要援護者の優先順位決定 ・所属内の連絡調整 |
| 受援中 9/17～9/22 | <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション、ミーティング、応援チームの調整 ・活動計画、活動報告等 ・保健所、所属内との情報共有 | <ul style="list-style-type: none"> ・応援チームの活動計画直し ・保健所、所属内との連絡調整 ・スムーズに進めるための関係づくり |
| 受援後 9/23～ | <ul style="list-style-type: none"> ・活動報告、保健所への報告 ・活動の振り返り ・平常事業への復旧 | <ul style="list-style-type: none"> ・早期に振り返り、課題を部署横断的に共有 ・課題改善による受援体制の構築 ・現任教育を視野に入れた日頃の保健活動 |



受援を振り返って

良かったこと

1. 保健師定例会で地区診断を共有していたこと
支援保健師に各地区の概要をすぐに渡すことができた。
2. 拠点病院関係者と顔の見える関係ができていた
拠点病院の医師等とスムーズに連携して業務を進めることができた。
3. 保健所職員と顔の見える関係ができていた
日頃から保健活動や管内保健活動業務研究会を通して、関係ができていたため、連携はスムーズだった。
4. 災害机上訓練を実施していた。
台風直前の9/7（土）に「災害医療机上訓練」を実施し、医療機関・市関係者とも災害時の保健活動を経験したばかりだった。
5. 統括保健師・副統括保健師が中心に対応ができたこと。
保健衛生部門保健師と、地域包括支援センター保健師の連携により、災害対応の視点が広がった。

日頃、取り組んでいたことはできた

受援を振り返って

改善提案



| 課 題 | 今後の改善点 |
|---|---|
| 1. 災害派遣要請のタイミング 停電復旧の見通しの甘さから、災害支援の要請が遅れた。 | <ul style="list-style-type: none">・発災後、早期に保健所と被災状況や応援要請の必要性について検討する。 |
| 2. 部署横断的な連携と活動 ふれあいセンターの停電により、要援護者台帳がプリントできず。 要援護者の担当が、複数部署にまたがるため、連携が図れず苦慮した。 | <ul style="list-style-type: none">・平常時からの台帳整備・保健所、担当部署で要援護者の優先順位や役割分担を日頃から話し合っておく。・活動の振り返りを行い、部署横断的に課題共有する。 |
| 3. 日頃の保健活動と現任教育 統括・副統括保健師以外の災害時の役割分担が不明確（指示待ち） 現場に出向いてのニーズ把握、アセスメント力に課題 | <ul style="list-style-type: none">・日頃の活動が災害時につながることを意識する。・経験年数に応じた役割意識をもつ。・アセスメント、ニーズ把握力の向上。 |

6. 鴨川市の災害医療連携

| 年 度 | 取 り 組 み |
|--------|---|
| 平成26年度 | 亀田総合病院と健康推進課で、「災害医療」の視点で行政と課題共有として定例会が始まる（災害医療連携会議） |
| 平成28年度 | 災害医療連携会議で避難誘導マップを作成 |
| 平成29年度 | 鴨川市防災訓練に併せて、保健所と合同の薬剤等搬送訓練実施 関係者でHUG訓練（避難所運営ゲーム）を実施し、避難所運営の課題を話し合う |
| 平成30年度 | 亀田総合病院・鴨川市立国保病院・健康推進課が参加し、合同災害医療机上訓練実施 |
| 令和元年度 | 9/7政府訓練に併せた災害医療合同机上訓練実施 亀田総合病院・鴨川市立国保病院・東条病院 行政（医療支援班・福祉班・防災班・教育委員会）安房保健所 |

【会議メンバー】 鴨川市（健康推進課・福祉課・危機管理課）
亀田総合病院（災害医療コーディネーター〔在宅医〕・理学療法士・調整員）
鴨川市立国保病院（理学療法士・医療ソーシャルワーカー・事務） 鴨川消防署
安房保健所（保健師・薬剤師・獣医） 鴨川市ケアマネジャー連絡協議会

災害医療連携会議

亀田総合病院【災害拠点病院】
〔災害医療コーディネーター（在宅医）・理学療法士・調整員〕

鴨川市立国保病院【災害協力病院】
〔理学療法士・医療ソーシャルワーカー・事務〕

行政

鴨川市【直営】地域包括センター
（地域包括ケア）

危機管理課
（防災）

福祉課・
子ども支援課
（要支援者）

健康推進課
（災害医療）

安房保健所
（保健師）

ケアマネジャー

消防署

7. ケアマネジャーへのアンケート結果

| | | |
|-----------|---|-----------------|
| 目的 | 台風15号・台風19号の災害時における連携について、 情報共有・利用者の避難 に関する 現状把握と、課題・対応策の検討 | |
| 実施数 | 市内居宅支援事業所 16事業所 | 突然きた台風で準備不足 |
| 日程 | 令和元年11月20日（水）～12月4日（水） | |
| 方法 | 事前にメールで様式を送り、後日、ヒアリングとともに回収 | |
| 結果 課題① | 「行政との連絡・通信」 停電時の情報発信と情報収集 | 長引く停電 |
| 課題② | 「安否確認のルールづくり」 安否確認の対象者・いつまでに・関係者の協力 | 医療・介護・市民の生活実態は？ |
| 課題③ | 「在宅療養者の支援」 医療依存度の高い療養者・医療ケア児 | |

【今後の取り組み】

ケアマネジャーの聞き取りから見えてきた課題に対し、災害医療連携会議のワーキングを設置し、関係者で話し合う

8. 見えてきた課題

日頃やっていないことは、災害時にはできない

1. 顔の見える関係づくり

まずは庁内の関係部署・保健所・医療機関等

2. 災害拠点病院・関係機関との連携

関係機関を巻き込んだ定例会議や訓練、研修の積み重ね

3. 保健活動計画（受援も含む）や要援護者の基準を明確にした台帳作成と部署横断的な活動

要援護者の支援、受援も視野にいれた保健活動計画、部署横断的に情報共有・連絡調整できる体制づくり

4. 災害対応経験を現任教育に活かす

振り返りを行い、次に活かす

5. 部署横断的に課題を共有し、今後の体制を構築

9. 現在の取り組み

| | 課 題 | 現 在 の 取 り 組 み |
|---|--|---|
| 1 | 顔の見える関係づくり | <ul style="list-style-type: none">・ 災害医療連携会議・ ワーキング会議 |
| 2 | 災害拠点病院・関係機関との連携 | <ul style="list-style-type: none">・ 災害医療連携会議・ 合同災害訓練 |
| 3 | 保健活動計画（受援も含む）や要援護者の基準を明確にした台帳作成と部署横断的な活動 | <ul style="list-style-type: none">・ ワーキング会議 |
| 4 | 災害対応経験を現任教育に活かす | <ul style="list-style-type: none">・ 保健師定例会議・ 保健師研修会 |
| 5 | 部署横断的に課題を共有し、今後の体制を構築 | <ul style="list-style-type: none">・ 災害医療連携会議・ ワーキング会議・ 医療支援班（健康推進課）で、アクションシート作成 |

災害医療連携会議 ワーキング会議



関係づくり

お互いの立場・
役割・専門性を
理解する

会議を通して
PDCAサイクルを
回す

目標や取組の
共有

「一緒にしくみ
を作る」を通し
て、自分達の仕
事に活かす。

しくみを作った
ら、訓練して検
証する。

プロセスが大事！

Plan
(計画)

Action
(改善)

Do
(訓練)

Check
(評価)

感謝

今回の災害対応に際し、御支援くださいました県内外の保健師をはじめ、スタッフの皆様に感謝し、心よりお礼申し上げます。
本当にありがとうございました。